



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場取引所 東

上場会社名 明治機械株式会社

コード番号 6334 URL <http://www.meiji-kikai.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 河野 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 高工 弘

TEL 03-5295-3511

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 889 | △10.2 | △34 | — | △30 | — | △55 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 990 | △35.2 | △53 | — | △47 | — | △132 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 99百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △78百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | △5.84 | — |
| 26年3月期第1四半期 | △13.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 4,235 | 1,271 | 30.0 |
| 26年3月期 | 4,415 | 1,172 | 26.6 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,271百万円 26年3月期 1,172百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 2,714 | 20.3 | 117 | — | 71 | — | 71 | — | 7.48 |
| 通期 | 6,016 | 34.5 | 259 | — | 233 | — | 223 | — | 23.50 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期1Q | 9,502,636 株 | 26年3月期 | 9,502,636 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期1Q | 14,200 株 | 26年3月期 | 14,200 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期1Q | 9,488,436 株 | 26年3月期1Q | 9,488,436 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)におけるわが国の経済は、政府による経済政策および金融政策を背景に、引き続き穏やかな回復がみられました。一方で、消費税増税に伴う個人消費の影響や海外において新興国の経済成長の鈍化など、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の主要な得意先業界であります製粉業界では、輸入小麦の政府売渡価格の相次ぐ値上げ、円安の影響による原材料価格や電力料等のコスト上昇のほか、販売競争が激化するなど厳しい事業環境下にありました。一方、飼料業界では、主原料のとうもろこし価格が、米国産の堅調な輸出需要やウクライナ情勢悪化による同国の供給減少懸念などから上昇しております。また、大豆粕につきましても世界的に旺盛な需要により高値水準で推移、また、為替も円安で推移したことから原材料価格は上昇傾向にありました。このような状況を反映して、飼料メーカー各社は配合飼料価格を値上げしましたが、原材料価格の上昇分全てを転嫁できないなど依然厳しい事業環境にありました。このような状況でありましたので、両業界ともに設備投資には慎重でありました。

このような中、当社グループは、引き続き受注・売上確保のために積極的な営業活動の展開、CS(顧客満足)を追求した製品・サービスの品質向上を図り、他方、予算管理の徹底、製造コストをはじめとするコストダウンならびに経費削減に取り組み、業績向上に鋭意努めてまいりました。

しかしながら、当社グループの連結売上高は、受注競争激化による受注の伸び悩みや顧客の設備投資の先送りなどがあり、当社の小中規模飼料プラント工事物件の売上などはありましたが、889百万円(前年同四半期比10.2%減)となりました。

また、損益面に関しましては、売上高減少などの影響を受け、営業損失34百万円(前年同四半期は営業損失53百万円)、経常損失30百万円(前年同四半期は経常損失47百万円)となり、四半期純損失は55百万円(前年同四半期は四半期純損失132百万円)となりました。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

〔産業機械関連事業〕

当社グループは、厳しい事業環境のもと受注・売上確保のために積極的な営業活動を展開し、売上の主要なものとして、圧扁設備ドライヤークーラー更新工事、鶏豚ペレット・クーラー更新工事、有葉マッシュバラ出荷設備等などの各種製粉・飼料設備工事のほか、その他主力製品のロール機、シフター、精選諸機械などの売上があったものの、売上高は878百万円(前年同四半期比10.2%減)と前年同期に比べ減少いたしました。損益面に関しましては、プラント工事ほかの予算管理の徹底、経費削減などに努めましたが、売上高減少により営業損失43百万円(前年同四半期は営業損失63百万円)となりました。

〔不動産関連事業〕

当社は本社ビルの賃貸を行っており、売上高11百万円(前年同四半期比6.3%減)、営業利益9百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産に関する状況

資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は4,235百万円となり、前連結会計年度末に比較して180百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が345百万円、受取手形及び売掛金が42百万円減少したのに対し、投資有価証券が233百万円増加したことなどによるものであります。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,963百万円となり、前連結会計年度末に比較して280百万円減少いたしました。これは主に、前受金が163百万円、長期借入金が86百万円及び短期借入金が51百万円減少したことなどによるものであります。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は1,271百万円となり、前連結会計年度末に比較して99百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が55百万円減少したのに対し、その他有価証券評価差額金が160百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結損益状況につきましては、売上高は6,016百万円、営業利益は259百万円、経常利益は233百万円、当期純利益は223百万円を予想しており、平成26年3月期決算短信(平成26年5月13日開示)に記載した内容と変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,288,448 | 942,470 |
| 受取手形及び売掛金 | 797,511 | 754,513 |
| 商品及び製品 | 77,649 | 80,212 |
| 仕掛品 | 297,580 | 315,174 |
| 原材料及び貯蔵品 | 68,109 | 67,157 |
| その他 | 77,976 | 39,635 |
| 貸倒引当金 | △531 | △2,319 |
| 流動資産合計 | 2,606,745 | 2,196,843 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 166,656 | 163,635 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 51,895 | 49,326 |
| 土地 | 927,218 | 927,218 |
| その他(純額) | 47,858 | 56,162 |
| 有形固定資産合計 | 1,193,628 | 1,196,342 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 47,593 | 45,133 |
| 無形固定資産合計 | 47,593 | 45,133 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 449,451 | 683,448 |
| その他 | 157,941 | 152,783 |
| 貸倒引当金 | △39,425 | △39,425 |
| 投資その他の資産合計 | 567,967 | 796,806 |
| 固定資産合計 | 1,809,188 | 2,038,282 |
| 資産合計 | 4,415,934 | 4,235,126 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 972,560 | 891,450 |
| 短期借入金 | 434,491 | 382,621 |
| 1年内償還予定の社債 | 20,000 | 20,000 |
| 未払法人税等 | 8,829 | 13,575 |
| 前受金 | 261,549 | 98,432 |
| 賞与引当金 | 16,153 | 20,233 |
| 工事損失引当金 | — | 208 |
| その他 | 79,636 | 84,814 |
| 流動負債合計 | 1,793,219 | 1,511,336 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 50,000 | 50,000 |
| 長期借入金 | 919,860 | 833,580 |
| 退職給付に係る負債 | 216,214 | 222,060 |
| 資産除去債務 | 19,698 | 19,698 |
| その他 | 244,421 | 326,716 |
| 固定負債合計 | 1,450,195 | 1,452,055 |
| 負債合計 | 3,243,414 | 2,963,391 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,605,733 | 1,605,733 |
| 利益剰余金 | △455,135 | △510,512 |
| 自己株式 | △8,941 | △8,941 |
| 株主資本合計 | 1,141,655 | 1,086,278 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △27,030 | 133,847 |
| 為替換算調整勘定 | 73,678 | 63,446 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △15,784 | △11,838 |
| その他の包括利益累計額合計 | 30,863 | 185,455 |
| 純資産合計 | 1,172,519 | 1,271,734 |
| 負債純資産合計 | 4,415,934 | 4,235,126 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 990,602 | 889,997 |
| 売上原価 | 810,383 | 720,665 |
| 売上総利益 | 180,218 | 169,332 |
| 販売費及び一般管理費 | 233,423 | 203,333 |
| 営業損失(△) | △53,205 | △34,001 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,081 | 1,178 |
| 受取配当金 | 5,644 | 579 |
| 負ののれん償却額 | 1,187 | — |
| 満期保険戻戻金 | 4,121 | 5,214 |
| その他 | 7,069 | 4,162 |
| 営業外収益合計 | 19,104 | 11,134 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,460 | 5,581 |
| 持分法による投資損失 | 985 | 1,000 |
| 為替差損 | 1 | 0 |
| その他 | 3,826 | 594 |
| 営業外費用合計 | 13,274 | 7,176 |
| 経常損失(△) | △47,374 | △30,043 |
| 特別損失 | | |
| 課徴金引当金繰入額 | 82,710 | — |
| 特別損失合計 | 82,710 | — |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △130,084 | △30,043 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,232 | 14,088 |
| 法人税等調整額 | △1,655 | 11,244 |
| 法人税等合計 | 2,576 | 25,333 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △132,661 | △55,376 |
| 四半期純損失(△) | △132,661 | △55,376 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △132,661 | △55,376 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24,092 | 160,877 |
| 為替換算調整勘定 | 30,537 | △10,232 |
| 退職給付に係る調整額 | — | 3,946 |
| その他の包括利益合計 | 54,630 | 154,591 |
| 四半期包括利益 | △78,030 | 99,215 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △78,030 | 99,215 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-------------------------|--------------|-------------|---------|------|------------------------------|
| | 産業機械 関連事業 | 不動産 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 978,459 | 12,142 | 990,602 | — | 990,602 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 285 | 285 | △285 | — |
| 計 | 978,459 | 12,428 | 990,887 | △285 | 990,602 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △63,800 | 10,595 | △53,205 | — | △53,205 |

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) |
|-------------------------|--------------|-------------|---------|-----|------------------------------|
| | 産業機械 関連事業 | 不動産 関連事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 878,621 | 11,376 | 889,997 | — | 889,997 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 878,621 | 11,376 | 889,997 | — | 889,997 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | △43,335 | 9,333 | △34,001 | — | △34,001 |

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年6月13日開催の取締役会決議に基づき、平成26年8月1日に当社の100%連結子会社である株式会社東京製粉機製作所（以下「東京製粉機」といいます。）を吸収合併いたしました。

1. 合併の目的

東京製粉機は、平成20年3月以降当社の連結子会社として、当社と同様の事業を行い、その特色を生かした経営を行ってまいりました。しかしながら、経営環境の変化に伴い、本合併により経営資源を集約化して当社グループの効率的な組織運営を図ること、特に、業務及び人員体制の効率化とノウハウを共有することにより、主力事業である粉粒体事業において両社の粉粒体技術を結集し開発力の強化、コストダウンを図るなど、より一層の収益力強化することを目的とします。

さらに、グループ内統合のシナジー効果による従業員意識レベルの向上、人材交流育成の強化、経営資源統合による資金効率化、事務管理の合理化、物流の効率化等々を図ることにより、経営基盤及び企業体質の強化に努めてまいります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

| | |
|-------------|---|
| 合併方針決定取締役会 | 平成26年4月25日(金) |
| 合併決議取締役会 | 平成26年6月13日(金) 当社 平成26年6月13日(金) 東京製粉機 |
| 合併契約締結 | 平成26年6月13日(金) |
| 合併期日(効力発生日) | 平成26年8月1日(金) |

(注)本合併は、当社においては会社法第796条第3項に定める簡易合併、東京製粉機においては、同法第784条第1項に定める略式合併の要件を満たすため、いずれも株主総会の承認を得ることなく行うものであります。

(2) 合併方式

当社を存続会社とし、東京製粉機を消滅会社とする吸収合併方式であります。

(3) 合併後の会社の名称

合併後の会社の名称に変更はありません。

(4) 合併に係る割当ての内容

該当事項はありません。

(5) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

東京製粉機は、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定であります。